野沢温泉村幼保小中一貫教育・高校連携教育　令和５年１２月２０日（通算２０１号）

山毛欅（ぶな）の子　野沢温泉学園だより第8号

～子どもたちが、ブナ（村木）の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

野沢温泉中学校の様子より

小6体験入学

小６児童と中１生徒による
合同での英語授業

１１月 27日・28日の２日間、小学校６年生児童の中学校体験入学を行ないました。

この体験入学は、野沢温泉学園の事業として位置づけられており、中１ギャップ解消と、小6から中１へのジョイント期に子どもたちをスムーズに支援するために行なっています。

本学園のように、年間で4日間実施している学校は珍しく、近隣の学校からも「野沢温泉の体験入学の取組は素晴らしいですね」と評価していただいています。

この2日間、小6児童は直接中学校へ登下校し、中学校の教科担任の授業を受けました。また、中１生徒との合同授業も行ない、英語では、生徒がトリップアドバイザーとなって児童の希望する国の世界旅行を提案したり、保健体育では中１と合同でバスケットボールをしたりしました。その他にも、中１生徒が工夫を凝らして中学校生活を紹介したり、生徒会代議員会が趣向を凝らして考えたレクを全校生徒と一緒に行なったりしました。特に、フルーツバスケットは盛り上がり、子どもたちは笑顔いっぱいでとても楽しんでいました。

小学生の感想では「分かりやすくて面白い授業ばかりだった。特に、中１との合同授業が楽しかった」「中学校の先輩たちと勉強したり昼休みに遊んだりして、やさしく接してくれたのでうれしかった」「来年の春からここに通うのが楽しみになった」等があり、中学への期待をふくらませることができたようです。次回は、来年2月26日に１日体験入学を行ないます。

小６児童と中学全校生徒で行なった「フルーツバスケット」

飯山高校との中高連携教育

○3年A組生徒が飯山高校の理科実験授業に参加　11月20日（月）

飯山高校の湯本学校長よりご提案をいただき、この度、初めて3年生が飯山高校探究科2年生の理科実験の授業に参加しました。中学校の理科学習の延長となる実験や、中学校では扱

えない金属による実験をさせていただきました。授業では、高校生が上手にヒントを出してくれたり実験を手伝ってくれたりして、中学生は安心して授業に参加することができました。

生徒の感想では「中学校では使えないナトリウムを使ってイオンの勉強をした。自分はあまり理科が得意ではなかったが、プリントや説明でわかりやすく授業をしてもらえたので、とても楽しかった」「高校生が優しくて良かったです。私も早く高校に行きたいなと思いました。高校生が皆楽しそうだったし、自由に過ごしている気がしました」「授業では、ナトリウムの固体を切ることができました。柔らかくてびっくりしました。反応も激しかったです。とても貴重な体験でした」等、高校進学を間近に控えている中学生にとって大変貴重な機会となりました。

○飯山高校の先生方との合同教科会　12月19日（火）

野沢温泉中学校にて、飯山高校の先生方と合同で教科会を行ないました。合同教科会は、幼保小中一貫教育・高校連携教育として、以前から野沢温泉学園で取り組んでいるものです。

各校を会場にして、年2回実施していますが、1回目の7月は、野沢温泉中の職員が飯山高校に出向き、高校の授業を参観し、合同で教科会を行ないました。

2回目の今回は、野沢温泉中の授業を飯山高校の先生方に参観いただき、その後、各教科で教科会を行ないました。中学・高校それぞれの立場で、授業で大事にしている点や指導法などを紹介したり、情報交換をしたりしました。

例えば、数学では、中学校で身に付けたい最低限の技能として、計算力をつけさせてほしいということが話題になりました。高校の数学では、計算がメインになっていくので、困らない程度の計算基礎力を中学校で養う必要があることが分かりました。

英語では、中3の授業を参観されて、生徒によるデジタル教科書の活用が進んでいることや、中学生が楽しく英語を学んでいる姿に感心され、高校の授業も変わらなければいけないと思ったそうです。

英語の教科会の様子。今回は中野西高校の先生も参加されました。

他にも、高校入試の英作文では、主語＋動詞が書かれていないと点数にならないことや、英作文を書く力、英文法を学ぶ大切さ等についても話題になりました。

この会で、高校の先生方のお話を伺ったり情報交換したりすることで、教科ごと「中学生のうちに身に付ける力」が具体的に見えてきました。

文責　中学校　吉越 洋一